

2020年6月2日

～新型コロナウイルス感染症による企業メセナ活動への影響に関するアンケート調査結果～

コロナ禍でのメセナの影響と支援の必要性を確認

公益社団法人企業メセナ協議会
株式会社ニッセイ基礎研究所

公益社団法人企業メセナ協議会と株式会社ニッセイ基礎研究所(協議会準会員)が共同で、協議会会員企業・団体を対象に実施した「新型コロナウイルス感染症による企業メセナ活動への影響に関するアンケート調査」の結果がまとまりました。主なポイントは次のとおりです。

【調査結果の主なポイント】

1. 新型コロナウイルス感染症拡大によってメセナ活動に影響がある企業・団体は7割
2. 新型コロナウイルスの収束後は「時期や方法について慎重に検討したうえで再開させたい」が過半
3. ほぼすべての回答企業がコロナ禍での芸術文化活動への支援を「必要だと思う」と回答
4. 新型コロナウイルスの感染拡大にかかわらず、メセナ活動を従来どおり継続するもしくは新型コロナウイルスの影響を視野に入れたメセナ活動を検討する企業・団体が多数
5. コロナ禍が過ぎた後、文化芸術の社会的な役割や存在価値が高まると答えた企業が多数

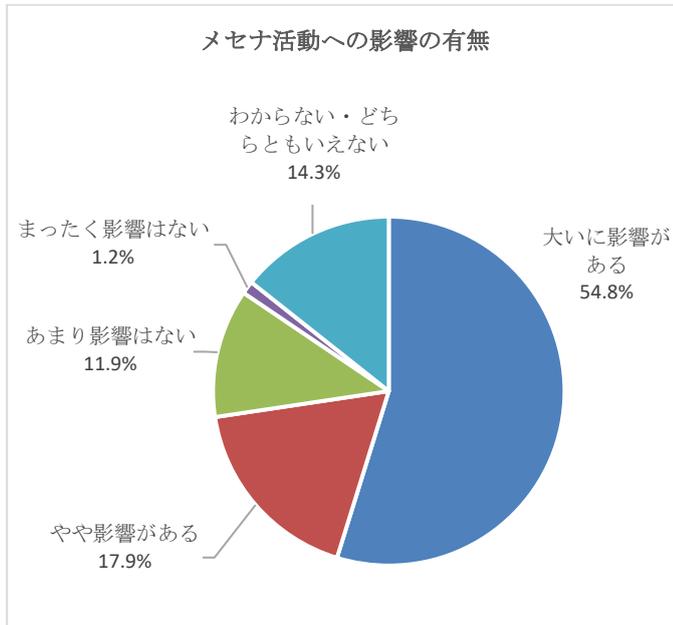
【調査概要】

・調査目的	新型コロナウイルスの感染拡大が、企業のメセナ活動に及ぼしている影響の実態や今後の展望などを把握し、会員企業と共有し、社会において重要な役割を果たしてきている企業メセナの状況を発信するために実施する。
・調査対象	企業メセナ協議会 正会員:119社・団体
・調査期間	2020年5月11日～5月20日
・調査方法	Eメールでの通知、ウェブアンケートによる回答
・有効回答数	84件(有効回答率70.6%)
・調査内容	<ol style="list-style-type: none">1. 新型コロナウイルス感染症拡大によるメセナ活動への影響2. 感染症拡大のための2月から4月までの延期・中止活動の有無3. 感染症拡大のための5月以降の延期・中止の予定4. 新型コロナウイルスが収束した後の対応5. 芸術団体等の支援予定団体等からの連絡および相談6. 文化事業が中止・延期になった場合の対応7. コロナ禍での芸術文化活動への支援の必要性8. 今後のメセナ活動にどのような影響を与えるか9. 従来のメセナ活動とは別のコロナ禍に伴う芸術文化への支援10. アーティストや芸術団体等への企業メセナとしての支援の必要性11. コロナ禍が過ぎた後の文化芸術の社会的な役割や存在価値12. 社会貢献における今年度予算への新型コロナウイルスの影響13. 協議会に対する要望やメセナ活動に関する困りごと14. 回答企業プロフィール(業種、設立年、資本金、従業員数)

※詳しい調査結果が必要な場合は、下記担当者にお問い合わせください。

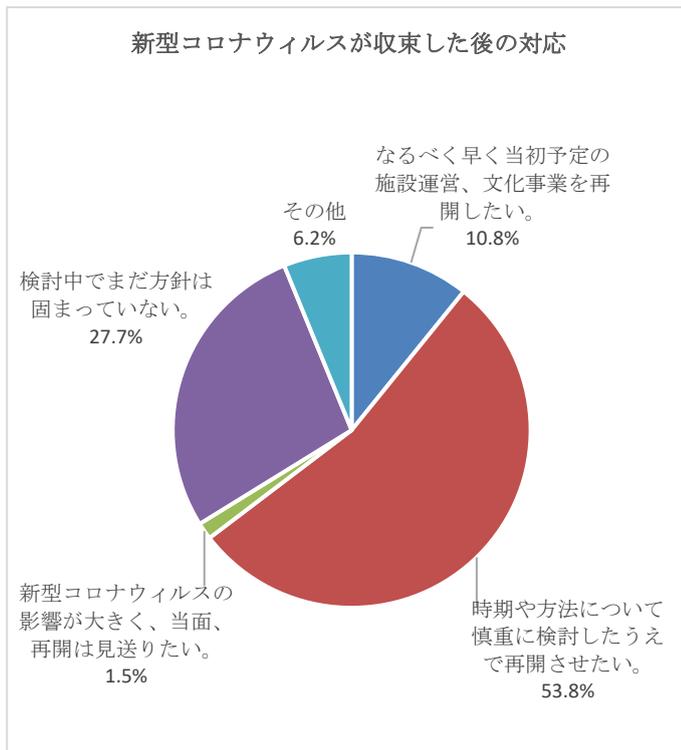
問い合わせ先:企業メセナ協議会広報担当 press@mecenat.or.jp

1. 新型コロナウイルス感染症拡大によってメセナ活動に影響がある回答企業が7割



• 新型コロナウイルス感染症拡大によって企業のメセナ活動に「大いに影響がある」が54.8%、「やや影響がある」が17.9%で、影響がある(大いに影響がある+やや影響がある)回答は72.6%となっている。

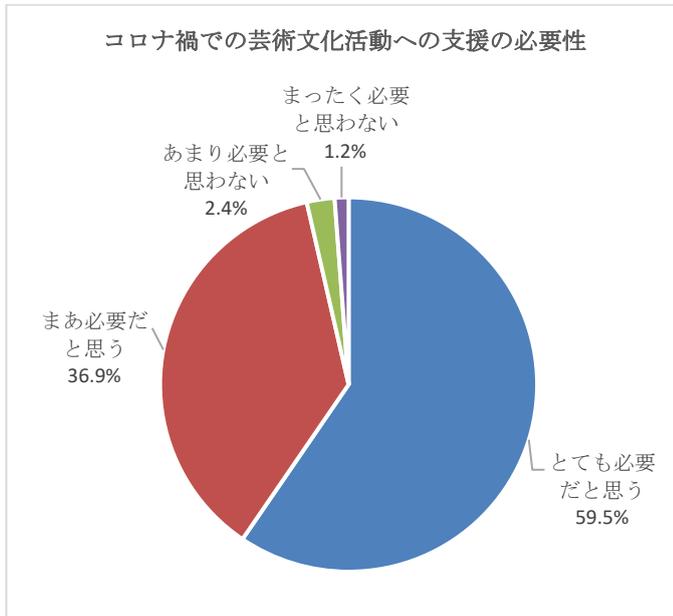
2. 新型コロナウイルスの収束後は「時期や方法について慎重に検討したうえで再開させたい」が過半



• 新型コロナウイルスの影響を受けた自主企画・運営の事業について、新型コロナウイルスが収束した後の対応は「時期や方法について慎重に検討したうえで再開させたい」が53.8%となっている。

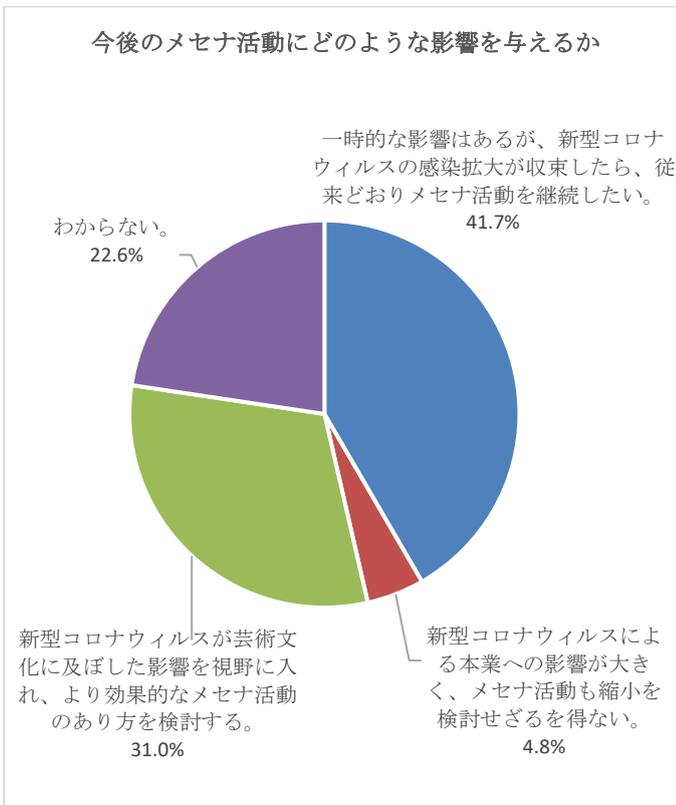
※調査票では選択肢に「自社で文化施設の運営や自主事業は実施していない。」が含まれる(回答件数19件)が、ここでは設問の趣旨を踏まえて集計から除外している。

3. ほぼすべての回答企業がコロナ禍での芸術文化活動への支援を「必要だと思う」と回答



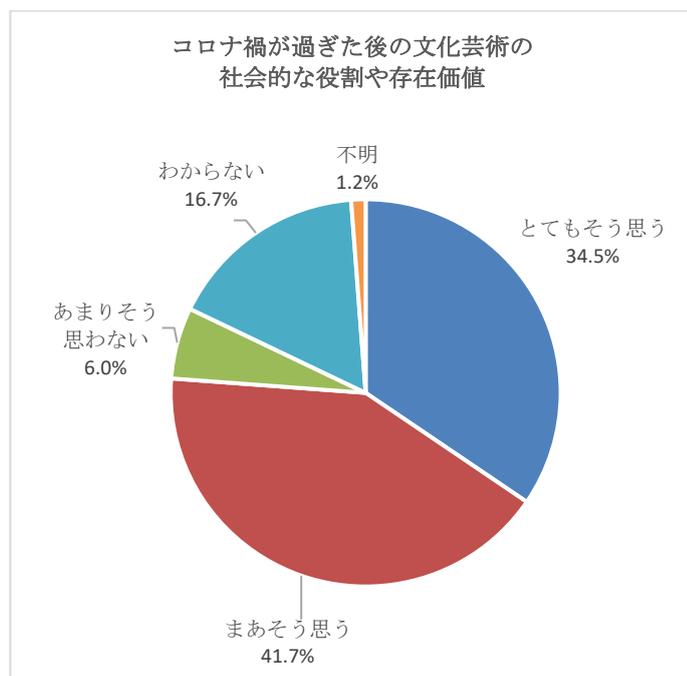
- 新型コロナウイルス感染症の拡大で、芸術文化活動にかかわる個人・組織への金銭的支援や活動再開に対する支援について「とても必要だと思う」が59.5%、「まあ必要だと思う」が36.9%で、必要だと思う(とても必要だと思う+まあ必要だと思う)回答は96.4%となっている。

4. 新型コロナウイルスの感染拡大にかかわらず、メセナ活動を従来どおり継続するもしくは新型コロナウイルスの影響を視野に入れたメセナ活動を検討する企業・団体が多数



- 新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言の発令について、「一時的な影響はあるが、新型コロナウイルスの感染拡大が収束したら、従来どおりメセナ活動を継続したい」という回答が41.7%、「新型コロナウイルスが芸術文化に及ぼした影響を視野に入れ、より効果的なメセナ活動のあり方を検討する」は31.0%で、大半の回答企業・団体がメセナ活動に前向きな姿勢を示している。

5. コロナ禍が過ぎた後、文化芸術の社会的な役割や存在価値が高まると答えた企業が多数



- コロナ禍が過ぎた後、文化芸術の社会的な役割や存在価値がこれまで以上に高まると思うかを聞いたところ、「まあそう思う」が41.7%、「とてもそう思う」が34.5%で、肯定的な意見(とてもそう思う+まあそう思う)が76.2%となっている。